

8月上旬

### 今年もきれいに咲きました 町内のヒマワリが満開に



夏風物詩となっている屈斜路地区と旧弟子屈飛行場跡地のヒマワリが8月上旬に満開となり、下旬までたくさんの方の目を楽しませました。

屈斜路地区は国道243号沿い、屈斜路ウオータースポーツ交流公園向かいの農場約2.8ヘクタールに、約60万本のヒマワリが咲きました。摩周湖農協畑作振興会が、国の中山間事業を活用し、景観緑肥として栽培しているものです。

旧弟子屈飛行場跡地は、約2ヘクタールに約40万本のヒマワリが植えられ、どちらも夏の観光スポットとなっています。

ポスターを手にするビン・カシワ氏



釧路市在住の画家ビン・カシワ氏が8月12日、役場を訪れました。(社)摩周湖観光協会(根津文博会長)と阿寒観光協会、知床斜里町観光協会が共同で、広域キャンペーンの一環で新しく制作したポスターのデザインを同氏が担当したこと(10ページ参照)、PRを兼ねて来町したものです。摩周湖・阿寒湖・知床を街道で結び、道東の雄大な自然をメルヘンチックなタッチで描いています。同氏は「3地域を平等に、その上で違和感なくつなげることに苦心した。ふるさとのことだから力を入れた。これをきっかけに、道東を世界中に発信できる」と話していました。

8月21日

### 多彩な催しで地域をにぎやかに 屈斜路コタン夏のイベント2011



第4回屈斜路コタン夏のイベント2011(同実行委員会(渥美アイトモール実行委員長)主催)が8月21日、コタン桜公園特設会場で行われました。数年前に同地区に移住された渥美さんが、地域の活性化につなげたいと、地域の皆さんなどと協力して開催しているものです。世界のワインや新鮮な魚介類、地元の野菜などの販売が行われたほか、カラオケ大会や卓球大会、フリーマーケットなども行われ、多くの皆さんでにぎわいました。

8月5日

### たくさんの方に見てほしい 同級生による故山下幾雄さんの書展



4年前に亡くなった故山下幾雄さんの書がこのほど、道の駅摩周温泉に展示され、生前、山下さんと親しくしていた同級生の皆さんが集まったほか、たくさんの方が鑑賞しました。

山下さんは60歳を過ぎてから書道を習い始め、総合書道展毛筆部門(日本書道協会主催)で入選するほどの腕前となりました。山下さんが亡くなった後、作品は同級生の皆さんが預かっていましたが、たくさんの方に見てほしいと書展を行ったもの。同級生の一人、坪井嗣雄さんは「努力が報われた山下さんの書が、皆さんの励みになれば」と話していました。

8月10日

### 暑い夏を水の中で楽しむ 川湯屋内温水プールにたくさんの人出



厳しい暑さが続いた8月上旬、川湯屋内温水プールには涼を求めてたくさんの方が訪れにぎわいました。8月10日には、一時約70人の利用客が訪れ、子どもたちの歓声などが館内に響き渡りました。また、東日本大震災で被災し、夏休みを町内で過ごしている方も10人ほど訪れ、親子での水遊びを楽しんでいました。

8月19日

### 安全運転で楽しい道内観光を 美幌・弟子屈両町合同の交通安全啓発



「バイクの日」の8月19日、美幌町と弟子屈町合同の交通安全啓発が、国道243号、道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」前で行われました。秋の観光シーズンと農繁期を迎えるに当たり、オホーツクと釧路・根室管内をつなぐ同国道で交通安全を呼び掛けようと、約80人が参加して行われたものです。警察関係者のほか、本町からは交通安全推進運動協議会、交通安全協会、交通指導員会、女性ドライバークラブの皆さんが参加。観光客のうちわやペナントなどを手渡し、交通安全を呼び掛けました。

7月25日

### 平和の尊さを忘れない 戦没者追悼式で誓いを新たに



弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約70人の参列者が黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花し、平和への誓いを新たにしました。

8月1日

### 今年も出来は上々です 特産の摩周メロンの出荷始まる



特産の摩周メロンの出荷が、8月1日に始まりました。摩周メロンは、摩周湖農協摩周メロン生産組合(窪内繁義組合長)の8戸が生産。弟子屈町農産物出荷センターと摩周湖農協、道の駅摩周温泉、郵便局の「ふるさと小包」だけの取り扱いで、市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。日中と夜間の温度差が大きい気候で甘みを増すというメロンは、今年の出荷も上々で、2万5,000玉の出荷を見込んでいます。

8月5日

### 自然環境保全に尽力 蜂谷衛さんが自然公園指導員表彰を受賞



蜂谷衛さん(54歳・中央1)が、平成23年度自然公園指導員表彰を受賞しました。伝達式は8月5日、川湯エコミュージアムセンターで行われ、増本弘次釧路総合振興局保健環境部長から蜂谷さんに表彰状が手渡されました。表彰は、自然公園指導員として長年職務に精励し、功績が顕著であると認められた方に対して、環境省自然環境局長が行います。蜂谷さんは、1990年から自然公園指導員として、自然保護思想の普及啓発と自然公園の保護、自然公園内の美化清掃などを行ってきました。また、川湯エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事で講師も務めています。

7月31日

### 親子で木工に挑戦 夏休みトンカチ教室



町と町森林組合共催の木工教室「夏休みトンカチ教室〜切ったたいて工作しよう〜!」が7月31日、桜ヶ丘森林公園で行われました。子どもたちの夏休みの工作の参考にと開催されているもので、今年で15回目。建設現場で残った角材やベニヤ板などを活用して、巣箱などを作る催しです。今年は「マイはし」を作るキットも参加者全員に配られました。参加した小学生とその保護者など約50人は、思い思いの作品作りに熱中していました。

8月1日

### 新しくなった道の駅を視察 「まちかど対話」で道知事が来町



高橋はるみ北海道知事が8月1日、町内を訪れました。地域の実情を聞くため、また道政に対する皆さんの理解を深めていただくため、知事自らが道内の各地域を訪問し、地域の皆さんと直接対話をする「まちかど対話」のために、1日から2日にかけて釧路管内を訪問したものです。本町では、出迎えた徳永町長や八幡町議会議長などの案内で、リニューアルオープンしたばかりの道の駅摩周温泉などの視察を行いました。